

防犯診断報告書

調査日	平成20年6月 9日
作成日	平成20年6月11日
物件名	
調査員	防犯設備士 坂本一成

NPO法人 安全安心まちづくり研究会

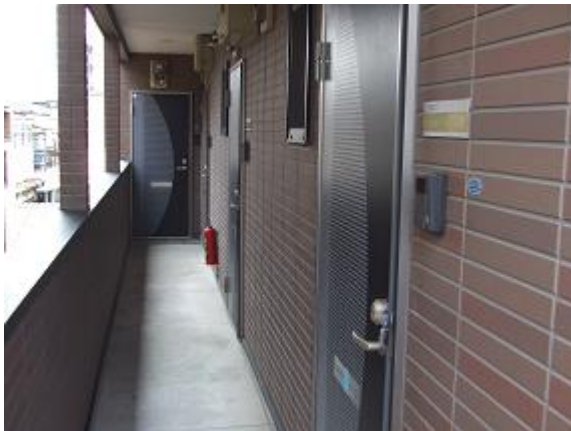


福岡市南区大楠地域全体像

- 住宅街の中のアパートなので死角部分が非常に多い
- 入居者が単身者である為、夕方まで留守が分かってしまう傾向にあるので、入居者に対しても“防犯意識”をもってもらう必要がある
- 南署の管内だけでなく福岡市及びその近郊のアパートは例外なく侵入被害が多発傾向にある

防犯診断報告書

- アパートの建て位置が防犯上、非常に見通しが悪く、一度狙われると時間をかけてゆっくりと犯行におよぶ事ができるので危険である。
- 窓部に付いてはシャッターが付いているが、決して安心できない。完全に死角部分がある為、カギを壊されての侵入も考えられる。
- 窓部が無防備な部位（掃出し窓の上部窓）がある為、侵入被害にあう可能性が高い。



- カメラ付インターホンは非常に良い。
- ドア部について、錠前はピッキング及び破錠に強い。但し、1ドア2ロック1ブザーが望ましい。また、サムターン回し防止対策があればなお良い。
- ドア部のポストは、最近破壊して侵入されるという手口が多発傾向にある為、対策が必要である。
- 玄関ドア横の窓の防犯対策は、優先順位をつけても上位に位置するほど危険性が高い。
- 2F部に対しても、雨樋を通して侵入される可能性がある。
- 隣の建物の関係で足場となる部位がある為、2Fへの侵入も考えられる。
- ドアスコープからの侵入手口も増加傾向にあるので注意が必要である。
- 駐輪場の防犯対策の必要性がある。



総合評価

- ◆ 全体的に防犯力の弱い建物が多いと思われる。
- ◆ 今後は、設計段階から防犯環境設計を行うと良い。既存住宅も同じように防犯対策を行うと良い。
- ◆ 地域性、住民の特性を考えて防犯対策を取る事が望ましい。
- ◆ 現在の空き物件に対しても、防犯レベルを上げる様にする事が望ましい。
(一般の方々の防犯住宅への関心が高い為、入居率がUPする可能性が高い)
- ◆ 防犯システム・防犯シート・防犯カメラ・センサーライト・防犯ガラス・防犯錠等を地域性、入居者の状況を考え、複合的に防犯対策の必要性があるのではないのでしょうか。